

平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

[1枚目]

事業コード	33230001	部・課・係名等	コード1	01020200	政策体系上の位置付け	コード2	332003	予算科目	コード3	001020101
事務事業名	国際交流推進事業	部 名 等	企画総務部		政 策 の 柱	基 1 にぎわい、活力あるまちづくり		会計	一般会計	
予算書の事業名	18. 国際交流推進事業	課 名 等	地域協働課		政 策 名	3 交流と連携によるにぎわい創出		款	2. 総務費	
事業期間	開始年度 平成5年度 終了年度 当面継続 業務分類 5. ソフト事業	係 名 等	地域協働推進係		施 策 名	2. 多様な交流の推進		項	1. 総務管理費	
実施計画(H25~H27)への記載	無	記入者氏名	笹川 歩未		区 分	なし		目	1. 一般管理費	
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input type="radio"/> 2. アウトソーシング <input type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営	電話番号	0765-23-1017		基 本 事 業 名	国際交流の推進				

事業概要 (どのような事業か)	実施計画への記載予定事業内容	単位	計画					
			上段・計画		下段・実績		計画	
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<p>◆事業概要 (どのような事業か)</p> <p>国際交流、国際社会との共生を目指し、国際交流事業を企画し、また、民間団体、市民間で進められる様々な国際交流事業の支援に努める。</p>	<p>◆実施計画への記載予定事業内容</p> <p>H26</p> <p>H27</p> <p>H28</p>							
<p>対象</p> <p><この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など></p> <p>市民</p>	<p>対象指標</p> <p>① 市民</p> <p>②</p> <p>③</p>	人	45,176	44,812	44,728	44,490	44,178	43,865
<p>手段</p> <p><平成24年度における事業見直しの有無> <平成24年度の活動及び見直し内容></p> <p>見直し有 国際交流推進員の派遣及び国際交流事業の企画、実施「国際交流サロン」の開設 友好親善都市盟約締結25周年記念植樹事業</p> <p><平成25年度の主な活動内容></p> <p>国際交流推進員の派遣及び国際交流事業の企画、実施「国際交流サロン」の開設 チェンマイ市長等の招致</p>	<p>活動指標</p> <p>① ハロウィン参加人数</p> <p>② 国際交流推進員事業件数 (派遣、紹介、打合せ)</p> <p>③ 国際交流フェスタ参加人数</p>	人	170	150	150	150	150	150
<p>意図</p> <p><この事務事業によって、対象をどのように変えるのか></p> <p>外国人との交流が深まる。国際感覚が豊かになる。</p>	<p>成果指標</p> <p>① 国際交流推進員として登録する者</p> <p>② 国際社会への理解・交流が進み、外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境が整ってきていると感じる市民の割合</p> <p>③</p>	人	17	20	20	20	20	20
<p>その結果</p> <p><施策の目指すがた></p> <p>・国際社会への理解が進み、市民の国際感覚が豊かになり、活発な交流が行われています。</p> <p>・外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整備され、まちがにぎわっています。</p>	<p>↑成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入</p>	%	12.00	20.00	22.00	22.00	22.00	22.00
<p>◆この事務事業開始のきっかけとこれまでの事務事業見直しの経緯</p> <p>平成元年、タイ王国チェンマイ市と友好親善都市の盟約を締結した。国際化に向けた市民の関心と今後の在住外国人の増加に備え、国際社会への対応が求められた。近年、チェンマイ市とは公的レベルでの交流をほとんど行っていなかったが、盟約締結25周年を記念し、日本の桜を寄贈し、植樹を行った。</p>	<p>費 目</p> <p>実績</p> <p>計画</p>		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<p>◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化 (法改正、規制緩和、社会情勢の変化など)</p> <p>チェンマイ市との友好親善都市盟約締結25周年を記念し、チェンマイ市訪問団を派遣したことを契機に、チェンマイ市長を魚津市へ招致するなど交流を深めていく。</p> <p>今後ますます在住外国人との多文化共生社会への取り組みが重視されてくる。</p> <p>◆市民や議会などからの要望・意見 (担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)</p> <p>中国蓬萊市及び日中友好協会から、魚津市との行政同士の友好交流の締結を要望されているが、当面は民間レベルでの交流を進める。</p>	<p>財源内訳</p> <p>(1)国・県支出金 (千円) 0 0 0 0 0 0</p> <p>(2)地方債 (千円) 0 0 0 0 0 0</p> <p>(3)その他(使用料・手数料等) (千円) 27 14 30 30 30 30</p> <p>(4)一般財源 (千円) 464 489 501 501 501 501</p> <p>子算(決算)額(1)~(4)の合計 (千円) 491 503 531 531 531 531</p> <p>(1)需用費 (千円) 92 98 112 112 112 112</p> <p>(2)委託料 (千円) 0 100 100 100 100 100</p> <p>(3)工事請負費 (千円) 0 0 0 0 0 0</p> <p>(4)負担金補助及び交付金 (千円) 177 217 207 207 207 207</p> <p>(5)その他 (千円) 222 88 112 112 112 112</p> <p>A. 子算(決算)額(1)~(5)の合計 (千円) 491 503 531 531 531 531</p> <p>①事務事業に携わる正規職員数 (人) 2 2 2 2 2 2</p> <p>②事務事業の年間所要時間 (時間) 1,100 1,200 1,200 1,200 1,200 1,200</p> <p>B. 人件費 (②×人件費単価/千円) (千円) 4,770 5,279 5,280 5,280 5,280 5,280</p> <p>事務事業に係る総費用 (A+B) (千円) 5,261 5,782 5,811 5,811 5,811 5,811</p> <p>(参考) 人件費単価 (円@時間) 4,336 4,399 4,400 4,400 4,400 4,400</p>		0	0	0	0	0	0
<p>◆県内他市の実施状況</p> <p>● 把握している</p> <p>○ 把握していない</p>	<p>◆把握している内容又は把握していない理由の記入欄</p> <p>黒部市、滑川市等国際交流員が在籍している市町は、国際交流員を中心に事業が展開されている。他に、国際交流協会等の同好会的グループによる交流事業が行われている。</p>		491	503	531	531	531	531
<p>◆市民と行政の協働状況</p> <p>● 協働している</p> <p>○ 協働可能だが未実施</p> <p>○ 協働になじまない</p>	<p>◆選択した協働状況の内容又は理由の記入欄</p> <p>国際交流推進員が国際交流サロンの企画に参加し、運営を行った。国際交流イベントを実行委員会に委託し、国際交流推進員、日本語ボランティアなどが実行委員として企画の段階から参加した。</p>		5,261	5,782	5,811	5,811	5,811	5,811

【目的妥当性の評価】

1. 基本事業との直結度 (事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直結しているか、その理由も記載)			
● 直結度大 ○ 直結度中 ○ 直結度小	説明	国際社会への対応のための市民育成事業は他にはない。 中国の成長、交流度合いの増加により在住外国人は増加しており、共存、共生社会への市民の理解が必要。	
2. 市の関与の妥当性 (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)			
○ 法令などにより市による実施が義務付けられている			
○ 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当			
● 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当			
○ 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当			
○ 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当			
根拠法令等を記入		事務の区分	自治事務
3. 目的見直しの余地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合その理由と内容を説明、できない理由も説明)			
なし	説明	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。	

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地 (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理由も説明) ※成果指標の計画と実績との比較に基づき記入			
あり	説明	成果実績	中位
市の国際交流事業に企画の段階から国際交流推進員に積極的に参画してもらうことにより、バリエーションの多い事業推進が図られる。			
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明、できない理由も説明)			
なし	説明	関連する他の事業はない。	

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)			
なし	説明	精査した上での事業費であり、国際交流推進員の今後の活動への影響もあり、見直す余地はない。	
7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)			
なし	説明	必要最小限の人件費である。	

【公平性の評価】

8. 受益機会の適正化の余地 (受益の機会が偏っていて不公平でないか)			
なし	説明	国際交流サロンなど毎回異なったテーマを設けて開催しているため、参加者は各テーマに興味のある人が集まるため、参加者の幅は広がってきている。	
9. 受益者負担の適正化の余地 (県内他市と比較し、適正な水準か)			
平均	説明	料理教室や交流会の開催時には、食材費相当分の参加費を徴しているため、適正な水準である。	

★ 評価結果の総括と今後の方向性			
1) 評価結果の総括			
① 目的妥当性	● 適切	○ 目的廃止又は再設定の余地あり	
② 有効性	○ 適切	● 成果向上の余地あり	
③ 効率性	● 適切	○ コスト削減の余地あり	
④ 公平性	● 適切	○ 受益者負担の適正化の余地あり	
2) 今後の事務事業の方向性			
○ 現状のまま(又は計画どおり)継続実施			年度
○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止			
○ 他の事務事業と統合又は連携			
○ 目的見直し			
● 事務事業のやり方改善			

★ 改革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと成果の方向性
実施予定時期	平成26年度	国際交流イベント等に参加協力する国際交流推進員が固定化してきているため、新たなメンバーを募り、国際交流推進員が自ら企画に携わる事業を実施することで、国際交流推進員の認知度を高める。
	中・長期的 (~5年間)	国際交流推進員を活用した草の根国際交流事業の充実を図る。
		コストの方向性
		維持
		成果の方向性
		向上

★ 一次評価 (課長総括評価)		二次評価の要否
平成24年度から国際交流サロンを開き、市内の外国人や、国際交流推進員が自由に交流し、お互いの絆がいつそう育つよう配慮する。また、国際交流推進員が自ら企画に携わることで、市民参画・協働が進むよう働きかける。チェンマイ市との友好親善が長く継続できるよう、今後さまざまな方面での交流について模索していく必要がある。		
		不要

★ 二次評価 (経営戦略会議・部会)	